

審査表等詳細

別紙

評価項目		配点	23 グループ	56 グループ	講評
大項目	中項目				
(1) 事業実施	取組方針・実施体制	4点	2.43	2.71	23グループは、モニタリング委員会の設置等、重層的なモニタリング体制による事業実施体制等が評価された。 56グループは、市や地域等の関連組織との綿密な連携による実施体制とする提案等が特に評価された。
	経営計画・収支計画	4点	2.29	2.14	23グループは、明確な収支計画と代表企業が総合ファイナンス企業となっている点が特に評価された。
	リスクへの対応	4点	2.00	2.14	56グループは、リスクの顕在化時における市への連絡体制や業務継続体制等が特に評価された。
	社会性	4点	2.57	2.71	23グループは、地元企業の活用についての具体的かつ実効性のある提案が評価された。 56グループは、地元企業の活用についての具体的かつ実効性のある提案、女性の雇用に係る支援等についての具体的な提案等が特に評価された。
	小計	16点	9.29	9.70	
(2) 施設整備 項	施設計画コンセプト	4点	2.86	2.43	23グループは、旧草津川側に開かれた施設のコンセプトが明快で、住宅地側に配慮した計画等が特に評価された。 56グループは、福祉滋賀のまちづくり条例による整備基準よりさらに望ましい基準に沿った計画等が評価された。
	施設配置計画（外部計画）	3点	1.71	1.50	23グループは、歩行者、車両の動線が多面的に検討されており動線に配慮した計画等が特に評価された。また、隣接地への景観的な配慮についても評価された。
	施設計画（内部計画）	11点	7.86	6.68	23グループは、分かりやすい動線計画で全体的にゆとりがあり、フレキシブルに諸室、空間を使う事で施設全体の稼働率を上げる計画が特に評価された。 56グループは、音環境の具体的な計画や充実した備品計画等が評価された。
	安全性	4点	2.00	2.29	56グループは、広域避難所としての機能について、具体的かつ充実した提案等が特に評価された。
	施設整備計画（工程管理）	2点	1.21	1.07	23グループは、工事車用の運行計画・ルートが明確化されており通学時間帯等は工事車両を通行禁止にする等の配慮が特に評価された。
	ライフサイクルコスト	4点	2.29	2.43	56グループは、具体的な数値をあげて、ライフサイクルコストを示すとともに、ワーキンググループによるライフサイクルコスト削減への取り組みについて特に評価された。
	小計	28点	17.93	16.40	
(3) 運営・維持 管理	運営・維持管理業務の取組方針および人員体制	3点	1.39	1.82	56グループは、IoT導入による地域のデジタルヘルスケア拠点を目指す取組や体制等が具体的であり特に評価された。
	利用料金および利用形態	3点	1.50	1.61	56グループは、季節ごとの料金体系の設定等の工夫により施設全体の稼働率・利用率向上を高める具体的な提案等が特に評価された。
	運営業務	4点	2.86	2.86	両グループとも、利用受付業務等において、施設予約や利用料金の支払い等について利用者の利便性を高める工夫と、多様な広報活動の計画が評価された。
	運営業務（うちにぎわい創出業務）	3点	1.82	1.82	両グループとも、草津川跡地公園de愛ひろばやYMITアリーナ等の地域や周辺施設との連携により、本施設のみならず周辺地域や中心市街地のにぎわい創出を図るための具体的かつ実現性の高い計画が評価された。
	運営業務（うちスポーツ健康づくり推進業務）	3点	1.39	2.14	56グループは、IoTを活用した先進的な取り組みによる、利用者満足度を高めるような具体的なトレーニング方法の指導等が、特に評価された。
	維持管理業務	4点	2.57	2.43	23グループは、プール水移送システムによる省エネルギー・省資源への配慮や紫外線発生装置等による空間除菌の対策等実効性の高い提案が特に評価された。 56グループは、建物データ管理システムを用いて維持保全の見える化を行う提案が評価された。
	修繕・更新業務	3点	1.82	1.82	両グループとも、事業期間終了後の本施設の保全状態に対する配慮についての具体的な提案が評価された。
	自由提案事業	3点	1.71	2.04	56グループは、施設全体の稼働率向上や利用促進による財政負担の軽減、集客力向上に寄与する、先進技術を導入した様々な提案が特に評価された。
	小計	26点	15.06	16.54	
合計	70点	42.28	42.64		